

情報公開文書

【研究課題名】

大腿骨近位部骨折患者における受傷時使用薬剤（ポリファーマシー）に関する研究

【研究の目的及び意義】

近年高齢化により多剤併用患者（いわゆるポリファーマシー）の問題が注目されています。ポリファーマシーによる身体症状のひとつにふらつきや易転倒性が挙げられており、これらは骨折を引き起こす可能性があります。現在骨脆弱性骨折のひとつである大腿骨近位部骨折（ももの付け根の骨折）患者も現在平均 85 歳程度まで上昇し、多くの骨折者が内科的合併症を持ち、多剤併用患者も少なくありません。本研究の目的は大腿骨近位骨折受傷患者が受傷時に使用していた薬剤を調査し、① 使用薬剤の状況および推移を把握し、② ポリファーマシー防止への対策を検討することです。

【対象】

2012 年 1 月 1 日から 2018 年 12 月 31 日の間に骨脆弱性大腿骨近位部骨折の診断で新潟県立新発田病院を受診した患者様

（ただし高エネルギー外傷，病的骨折，同部位の再骨折例は除外）

【研究に伴うリスクおよびプライバシーの保護】

本研究は受傷時に使用していた薬剤を調査するものであるため、研究のために X 線を撮ったり、血液を取ることはありませんので、患者様への負担は一切ありません。また、研究への参加の可否で、治療やその他の経過において患者に不利益が生じることもありません。

データおよび個人情報漏洩しないように、厳重に管理致します。研究成果の公表に際しては、個人が特定されることのないように配慮致します。

その他、不明な点や研究に同意されない場合は下記までご連絡ください（同意されない場合もその後の治療等には全く影響しませんのでご安心ください）。

新潟大学大学院医歯学総合研究科 地域医療長寿学講座（整形外科学分野内）

新潟県立新発田病院 骨粗鬆症・高齢者運動器外来

今井 教雄

TEL : 025-227-2272

FAX : 025-227-0782